

精神保健福祉士就労状況調査結果の実施概要

I 調査の目的

本調査は、社会福祉士、介護福祉士及び精神保健福祉士の資格取得者に対し、就労の状況を調べることにより福祉介護人材の動向の把握と処遇改善へ寄与することを目的として行った。

II 調査の実施主体

本調査は、社会福祉士、介護福祉士及び精神保健福祉士の登録機関である公益財団法人社会福祉振興・試験センター（以下「試験センター」という。）が厚生労働省の協力のもとに実施した。

III 調査対象

1 地域：全国

2 調査対象：

公益財団法人社会福祉振興・試験センターの「精神保健福祉士登録者名簿（平成27年2月末日現在）」に登録された有資格者から、層化無作為抽出法※により調査客体の抽出を行い調査を実施した。調査対象者数、有効調査数、有効回収数及び回収率は以下の通りであった。

（調査対象者数）（有効調査数）（有効回収数）（回収率）

精神保健福祉士 10,000人 8,992人 3,859人 42.9%

※ 層化無作為抽出法とは、母集団（登録者）の状況（「地域別」、「男女別」、「年代別」）にあわせて調査客体を抽出する方法。

IV 調査対象期日・調査実施期間

1 調査対象期日：平成27年11月1日現在とした。

2 調査実施期間：平成27年11月12日～12月13日

V 調査方法

1 調査票：別紙により実施した。

2 調査の方法：

インターネット使用が可能な方にはWEBでの調査を実施し、インターネット使用が困難な方にはあらかじめ郵送した紙の調査票により実施し、回答用紙を郵送により回収した。

VI 集計方法：

公益財団法人社会福祉振興・試験センターにおいて集計した。

なお、本報告書は速報版であり、集計にあたり、回収したデータのクリーニング作業を行っていないことを申し添える。

目 次

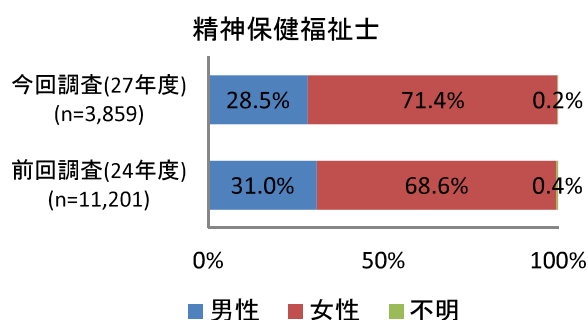
I 平成 27 年度の調査回答者の特徴 -----	1
1 調査回答者の性別の年度比較 -----	1
2 調査回答者の年齢の年度比較 -----	1
II 精神保健福祉士の状況 -----	2
1 他の資格の保有状況等(複数回答) -----	2
2 資格の取得動機(複数回答) -----	2
3 精神保健福祉士に関する研修への参加状況(過去 1 年間) -----	3
4 現在就労しているかの状況 -----	3
5 就労している人で精神保健福祉士の資格を活かした仕事をしているかどうかの状況 -----	3
6 精神保健福祉士の資格を活かした仕事をしている人の状況 -----	4
(1) 精神保健福祉士の資格を活かして就労している人の就労分野の状況 -----	4
(2) 就労している職場の規模の状況 -----	5
(3) 就労している職場での職種の状況 -----	5
(4) 採用の際に精神保健福祉士の資格が求められたかの状況 -----	5
7 就業している有資格者(精神保健福祉士の資格を活かしていない人を含む)の状況 -----	6
(1) 雇用形態の状況 -----	6
(2) 過去 1 年(平成 26 年)の年収 -----	7
(3) 資格手当の状況 -----	7
(4) 夜勤の有無の状況 -----	7
(5) 職場で他分野への異動の有無 -----	8
(6) 職場を探した方法(複数回答) -----	8
(7) 現在の職場の従事年数 -----	8
8 調査回答者全員の過去の仕事経験の状況 -----	9
(1) 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事の経験の有無 -----	9
9 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事経験のある人の状況 -----	9
(1) 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事の通算従事年月 -----	9
(2) 過去に精神保健福祉士の資格を活かして就労していた分野の状況 -----	9
(3) 前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間 -----	9
(4) 精神保健福祉士の資格を活かした仕事を辞めた理由(複数回答) -----	10
(5) 上記の中で最も大きな理由 -----	11
10 調査回答者全員の資格取得のメリットの意識(複数回答) -----	12
11 調査回答者全員の今後の精神保健福祉士の資格を活かした仕事への就労希望 -----	12
(現在、精神保健福祉士の資格を活かした仕事に就いている人はその継続希望)	

精神保健福祉士就労状況調査結果概要

I 平成27年度の調査回答者の特徴

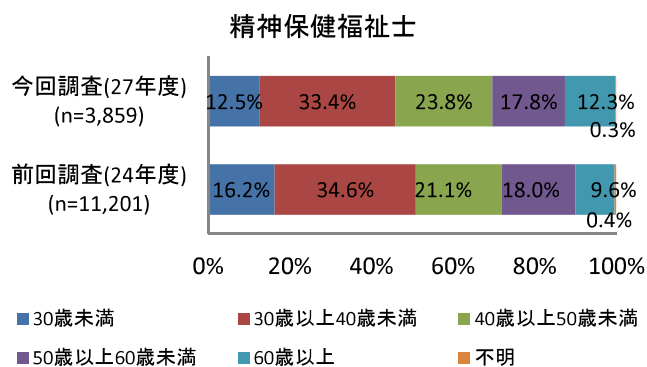
1 調査回答者の性別の年度比較

回答者の平成24年度との比較を性別で見ると、精神保健福祉士が「男性」28.5%（24年度31.0%）、「女性」71.4%（同68.6%）と、前回調査と概ね同じ割合であった。



2 調査回答者の年齢の年度比較

回答者の平成24年度との比較を年齢で見ると、「30歳未満」12.5%（24年度同16.2%）、「30歳以上50歳未満」57.2%（同55.7%）、「50歳以上60歳未満」17.8%（同18.0%）、「60歳以上」12.3%（9.6%）とほぼ同じ割合であった。



II、精神保健福祉士の状況

1. 他の資格の保有状況等

他の資格の保有状況を見ると、「社会福祉士」の割合が最も高く、次いで「社会福祉主事」、「介護支援専門員」の割合が高かった。
(複数回答)

(保有資格別、性別別、年齢別、世帯状況別、主たる生計維持者別)

	全体 (実数) (割合)	性別			年齢							世帯状況					主たる生計維持者				
		男性	女性	無回答	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	単身世帯	核家族世帯	三世帯世帯	その他の世帯	無回答	自分(本人)	自分(本人)以外	生計費は分割等	無回答	
回答数	3,859	1,098	2,754	7	0	482	1,287	918	686	476	10	815	2,427	370	233	14	885	1,483	644	18	
社会福祉士	2,229	57.8	59.9	57.0	28.6	0.0	68.7	61.5	63.2	48.7	39.5	50.0	57.2	58.6	59.5	49.8	35.7	60.7	58.8	52.5	61.1
介護福祉士	597	15.5	17.9	14.5	14.3	0.0	7.9	14.6	18.5	17.6	16.4	20.0	16.0	15.2	14.9	17.6	21.4	18.6	14.0	13.5	27.8
他の保有資格なし	498	12.9	14.9	12.1	0.0	0.0	20.5	14.8	11.1	8.9	9.7	0.0	15.8	12.6	9.2	12.0	7.1	10.7	14.3	9.3	5.6
介護支援専門員	1,156	30.0	28.7	30.5	14.3	0.0	2.1	22.1	41.1	42.4	40.1	20.0	24.5	31.2	32.2	32.6	21.4	38.1	26.6	33.5	33.3
ホームヘルパー	882	22.9	23.4	22.6	28.6	0.0	27.2	27.1	20.8	19.7	13.5	20.0	24.4	22.5	25.1	18.0	21.4	22.0	22.8	22.4	16.7
保健師	329	8.5	0.1	11.9	0.0	0.0	0.6	1.3	9.2	19.2	19.1	20.0	4.4	8.9	11.6	14.2	0.0	6.9	8.7	15.7	11.1
看護師	443	11.5	2.8	15.0	0.0	0.0	0.8	2.6	11.3	25.8	25.8	20.0	7.5	11.9	14.3	16.7	14.3	11.0	11.1	18.0	16.7
接骨理師	57	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	3.4	4.0	0.0	1.1	1.5	1.9	2.1	0.0	1.7	1.3	1.9	5.6
助産師	32	0.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0	3.4	0.0	0.4	0.7	0.8	3.4	0.0	0.8	0.5	2.0	5.6
理学療法士	7	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.4	7.1	0.2	0.1	0.2	5.6
作業療法士	30	0.8	0.9	0.7	0.0	0.0	0.2	0.6	1.0	1.2	0.8	0.0	1.0	0.9	0.3	0.0	0.0	0.7	0.9	0.5	0.0
言語聴覚士	5	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0
臨床心理士	62	1.6	2.0	1.4	14.3	0.0	0.4	1.4	2.1	1.7	2.3	0.0	1.8	1.6	0.8	2.6	0.0	2.6	0.6	2.3	0.0
相談支援専門員	592	15.3	18.7	14.1	0.0	0.0	6.4	20.7	15.4	14.1	12.0	0.0	13.3	15.8	18.6	12.4	14.3	18.2	13.0	19.6	11.1
社会福祉主事	1,543	40.0	44.2	38.4	14.3	0.0	54.6	48.1	39.2	27.1	23.9	10.0	41.1	39.3	44.9	36.5	21.4	41.0	40.2	37.3	33.3
保育士	193	5.0	1.7	6.3	0.0	0.0	3.1	4.0	5.6	6.6	6.3	0.0	4.5	5.3	5.1	3.9	0.0	3.7	5.4	6.5	5.6
弁護士	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医師	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
司法書士	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教科「福祉」の高等学校教育免許	52	1.3	0.9	1.5	0.0	0.0	0.8	1.4	1.3	1.6	1.5	0.0	1.2	1.3	2.2	1.3	0.0	0.9	1.6	1.6	5.6
その他の資格	918	23.8	24.3	23.6	14.3	0.0	20.1	19.0	27.1	28.3	26.3	20.0	22.2	23.2	25.9	32.6	7.1	25.2	24.1	23.3	33.3
無回答	154	4.0	4.1	3.8	71.4	0.0	3.5	4.4	3.6	2.9	4.8	50.0	3.7	4.0	2.7	5.2	35.7	4.2	3.8	3.4	16.7

*複数回答による割合

2. 資格の取得動機(複数回答)

資格の取得動機を見ると、「専門職としての知識・技術を得るため」の割合が最も高く、次いで「他の専門職との連携の際に、資格があったほうがよいため」、「就職・転職に有利なため」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
特になし	2.2%
専門職としての知識・技術を得るため	79.1%
他の専門職との連携の際に、資格があったほうがよいため	26.9%
職場から資格取得を求められた(勧められた)ため	11.3%
他の職員を指導する立場になる(なった)ため	3.7%
就職・転職に有利なため	27.3%
正職員として雇用されるため	10.7%
資格を取得すると給与があがる(手当が得られる)ため	6.1%
職場における職位の向上のため	9.0%
その他	9.9%
(無回答)	0.4%

3 精神保健福祉士に関する研修への参加状況(過去1年間)

過去1年間での精神保健福祉士に関する研修へ参加した事がある人の割合は約30%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
参加したことがある	30.2%
参加したことがない (無回答)	68.7%
	1.2%

4 現在就労しているかどうかの状況

現在就労している人の割合は、約87%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
就労している	87.4%
就労していない (無回答)	10.6%
	2.0%

(性別別、年齢別)

	全体	性別			年齢					
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
回答数	3,859	1,098	2,754	7	482	1,287	918	686	476	10
就労している	87.4	92.1	85.7	28.6	91.5	87.6	91.6	89.8	72.1	50.0
就労していない	10.6	6.6	12.2	0.0	7.7	11.1	6.5	7.4	24.8	0.0
無回答	2.0	1.3	2.1	71.4	0.8	1.3	1.9	2.8	3.2	50.0

5 就労している人で精神保健福祉士の資格を活かした仕事をしているかどうかの状況

就労している人で精神保健福祉士の資格を活かした仕事をしている人の割合は、約67%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
資格を活かした仕事をしている	67.1%
資格を活かした仕事をしていない (無回答)	31.8%
	1.1%

(性別別、年齢別)

	全体	性別			年齢					
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
回答数	3,373	1,011	2,360	2	441	1,127	841	616	343	5
精神保健福祉士の資格を活用している	67.1	69.5	66.0	50.0	72.8	70.2	65.2	63.8	60.3	40.0
精神保健福祉士の資格を活用していない	31.8	29.8	32.7	50.0	27.2	29.0	33.2	35.6	36.7	60.0
無回答	1.1	0.7	1.3	0.0	0.0	0.8	1.7	0.6	2.9	0.0

6 精神保健福祉士の資格を活かした仕事をしている人の状況

(1) 精神保健福祉士の資格を活かして就労している人の就労の分野の状況

就労の分野を見ると、「医療関係」の割合が最も高く、次いで「障害者福祉関係」の割合が高かった。

		精神保健福祉士 (N=2,262)
高齢者福祉関係		9.5%
障害者福祉関係		30.8%
児童福祉関係		2.4%
生活保護関係		1.4%
医療関係		32.4%
行政関係		11.3%
司法関係		0.7%
教育関係		3.5%
社会福祉協議会		2.5%
障害者職業センター		0.9%
その他		2.9%
無回答		1.5%

(性別別、年齢別)

		全体 (実数) (割合)		性別			年齢					無回答	
				男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上		
回答数		2,262	100.0	703	1,558	1	321	791	548	393	207	2	
精神保健福祉士	高齢者福祉関係												
	指定介護老人福祉施設	31	1.4	2.6	0.8	0.0	0.6	1.1	1.6	1.5	2.4	0.0	
	介護老人保健施設	22	1.0	1.0	1.0	0.0	1.6	1.3	1.1	0.3	0.0	0.0	
	指定介護療養型医療施設	1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	居宅介護支援事業所	48	2.1	1.8	2.2	0.0	0.3	1.3	3.9	3.1	2.4	0.0	
	地域包括支援センター	57	2.5	1.8	2.8	0.0	0.9	1.4	4.7	3.8	1.0	0.0	
	その他的高齢者福祉関係施設	51	2.3	2.3	2.2	100.0	1.6	1.9	2.6	2.5	3.4	0.0	
	無回答	5	0.2	0.4	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2	0.5	0.5	0.0	
	障害者福祉関係												
	生活介護事業所	30	1.3	2.3	0.9	0.0	1.9	0.8	1.8	2.0	0.0	0.0	
	共同生活介護事業所(ケアホーム)	12	0.5	0.6	0.5	0.0	0.3	0.5	0.7	0.5	0.5	0.0	
	共同生活援助事業所	60	2.7	3.6	2.2	0.0	2.8	3.0	1.6	2.5	3.9	0.0	
	自立訓練事業所	34	1.5	1.3	1.6	0.0	1.9	1.6	1.6	0.8	1.4	0.0	
	就労移行支援事業所	58	2.6	2.4	2.6	0.0	1.6	2.7	4.0	2.3	0.5	0.0	
	就労継続支援事業所	140	6.2	6.0	6.3	0.0	6.5	6.7	4.6	5.9	8.7	0.0	
	指定一般相談支援事業所	64	2.8	2.8	2.8	0.0	1.9	4.0	1.6	3.1	2.4	0.0	
	指定特だ相談支援事業所	115	5.1	6.1	4.6	0.0	1.9	8.5	3.8	3.3	3.9	0.0	
	地域活動支援センター	84	3.7	3.1	4.0	0.0	4.0	4.0	2.0	3.6	6.8	0.0	
	福祉ホーム	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他の障害者福祉関係施設	73	3.2	4.0	2.9	0.0	2.5	2.9	3.3	3.6	4.8	0.0	
	無回答	27	1.2	0.7	1.4	0.0	1.2	0.9	1.5	1.3	1.4	0.0	
	児童福祉関係												
	児童養護施設	5	0.2	0.4	0.1	0.0	0.3	0.3	0.2	0.3	0.0	0.0	
	児童自立支援施設	2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	乳児院・母子生活支援施設	1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	
児童家庭支援センター	6	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0		
その他の児童福祉関係施設	41	1.8	1.1	2.1	0.0	2.5	1.6	1.3	2.0	1.9	50.0		
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
生活保護関係													
保護施設	11	0.5	1.0	0.3	0.0	0.0	0.4	0.5	1.0	0.5	0.0		
婦人保護施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
無料低額宿泊所	1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0		
その他の生活保護関係施設	16	0.7	0.9	0.6	0.0	0.3	0.6	0.7	0.8	1.4	0.0		
無回答	4	0.2	0.0	0.3	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	1.0	0.0		
医療関係													
精神科病院・精神科有床診療所	501	22.1	24.3	21.2	0.0	38.6	24.7	18.6	14.5	11.1	0.0		
精神科以外の病院・有床診療所	94	4.2	3.1	4.6	0.0	6.2	4.9	3.8	2.3	2.4	0.0		
無床診療所	90	4.0	2.4	4.7	0.0	5.0	3.7	3.5	4.3	4.3	0.0		
訪問看護ステーション	3	0.1	0.3	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0		
その他の医療関係施設	25	1.1	0.4	1.4	0.0	0.9	1.6	1.1	0.5	0.5	0.0		
無回答	20	0.9	0.4	1.1	0.0	0.6	0.6	1.5	0.8	1.0	0.0		
行政関係													
役所(省庁、都道府県、市町村等)	139	6.1	4.7	6.8	0.0	4.4	4.8	7.7	9.2	4.3	0.0		
保健所	41	1.8	1.3	2.1	0.0	0.6	1.4	1.8	4.1	1.4	0.0		
市町村保健センター	22	1.0	0.4	1.2	0.0	0.6	0.4	0.9	2.3	1.4	0.0		
精神保健福祉センター	25	1.1	0.9	1.2	0.0	0.9	0.6	0.7	2.5	1.4	0.0		
その他の行政関係機関	27	1.2	0.6	1.5	0.0	0.9	0.5	2.6	1.0	1.0	0.0		
無回答	2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0		
司法関係													
保護観察所	8	0.4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.5	0.5	0.3	0.0	0.0		
刑務所	2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0		
更生保護施設等	2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0		
その他の司法関係施設	4	0.2	0.1	0.2	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0		
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
教育関係													
短期養成施設	3	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.0	0.0		
一般養成施設	6	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	1.0	0.0		
短期大学	3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0		
大学	39	1.7	2.4	1.4	0.0	0.3	1.0	2.2	3.1	2.9	0.0		
その他の教育関係施設	25	1.1	0.9	1.2	0.0	0.6	0.9	0.5	2.3	1.9	0.0		
無回答	3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0		
社会福祉協議会													
都道府県社会福祉協議会	3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.5	0.0		
市町村社会福祉協議会	53	2.3	2.6	2.2	0.0	1.2	2.5	4.2	1.0	1.0	0.0		
無回答	1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
障害者職業センター													
障害者職業センター(広域)	1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
障害者職業センター(地域)	13	0.6	0.4	0.6	0.0	0.9	0.5	0.7	0.5	0.0	0.0		
障害者就業・生活支援センター	7	0.3	0.3	0.3	0.0	0.6	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0		
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他													
無回答	66	2.9	3.8	2.5	0.0	0.9	1.5	3.3	3.8	8.7	0.0		
無回答	35	1.5	2.3	1.2	0.0	0.3	1.6	1.8	1.3	2.4	50.0		

(2) 就労している職場の規模の状況

就労している職場の規模を見ると、「200人以上500人未満」の割合が最も高く、次いで「100人以上200人未満」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=2,262)
5人未満	6.8%
5人以上10人未満	10.3%
10人以上20人未満	9.6%
20人以上50人未満	13.8%
50人以上100人未満	10.5%
100人以上200人未満	15.1%
200人以上500人未満	17.0%
500人以上	12.7%
分からない	2.7%
(無回答)	1.6%

(3) 就労している職場での職種の状況

就労している職場での職種を見ると、「相談員・指導員」の割合が最も高かった。

	精神保健福祉士 (N=2,262)
経営者	1.9%
施設長・管理者	12.2%
相談員・指導員	47.7%
介護支援専門員	3.0%
障害者相談支援専門員	7.5%
児童自立支援専門員	0.2%
介護職員(ホームヘルパー含む)	0.8%
生活支援員	6.5%
事務職員	3.4%
その他	16.2%
(無回答)	0.7%

(4) 採用の際に精神保健福祉士の資格が求められたかの状況

採用の際に精神保健福祉士の資格が求められた割合は、約52%であった。

	精神保健福祉士 (N=2,262)
求められた	52.5%
求められなかった	42.7%
分からない	3.8%
(無回答)	0.9%

7. 就業している有資格者(精神保健福祉士の資格を活かしていない人含む)の状況

(1) 雇用形態の状況

雇用形態を見ると、「正規職員」の割合が最も高かった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
正規職員	78.7%
非正規職員(常勤)	8.8%
非正規職員(パート等)	10.9%
派遣職員	0.6%
(無回答)	0.9%

(性別別、年齢別)

	全体	性別			年齢					
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
回答数	3,373	1,011	2,360	2	441	1,127	841	616	343	5
正規職員	78.7	87.9	74.7	50.0	89.1	83.8	82.4	78.4	39.9	60.0
非正規職員(常勤)	8.8	5.3	10.3	0.0	6.8	6.4	7.6	8.4	22.7	40.0
非正規職員(パート等)	10.9	5.4	13.3	50.0	3.4	9.1	7.8	12.0	32.7	0.0
派遣職員	0.6	0.2	0.8	0.0	0.5	0.4	1.0	0.0	1.7	0.0
無回答	0.9	1.1	0.9	0.0	0.2	0.4	1.2	1.1	2.9	0.0

(2) 過去1年(平成26年)の年収

過去1年(平成26年)の年収を見ると、全体の平均は347万円であった。

①労働者属性別

労働者属性別に見ると、性別では「男性」403万円、「女性」321万円であった。

年齢階級別に見ると、概ね年齢が高くなるほど年収は多くなっていた。

②雇用形態別

雇用形態別に見ると、「正規職員」では「男性」426万円、「女性」368万円であった。

「非正規職員(常勤)」では、「男性」274万円、「女性」239万円であった。

		精神保健福祉士				
		(回答数)	(平均年収 万円/年)	収し(参考 てい る 者 の 平 均 年 用	年し(参考 てい な い 者 の 平 均 用	
全 体		3,373	347	341	361	
性別	男性	正規職員	889	426	421	436
		非正規職員(常勤)	54	274	273	276
		非正規職員(パート等)	55	162	161	164
		派遣職員	2	70	90	50
		無回答	11	900	0	900
		無回答	2	200	0	200
	女性	正規職員	1,763	368	350	411
		非正規職員(常勤)	244	239	242	231
		非正規職員(パート等)	313	131	140	124
		派遣職員	19	130	66	156
		無回答	21	250	215	297
無回答		2	200	0	200	
年齢別	20代	441	255	263	232	
	30代	1,127	319	323	310	
	40代	841	380	372	397	
	50代	616	468	445	513	
	60代以上	343	262	260	270	
	無回答	5	315	30	600	

(3) 資格手当の状況

資格手当がある人の割合は、約27%であり、その平均額は13,147円であった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
資格手当がある	27.6%
資格手当がない	69.9%
無回答	2.4%
ある場合の平均額(円/月)	13,147

(4) 夜勤の有無の状況

夜勤がある人の割合は、約9%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
夜勤がある	9.5%
(1ヶ月あたりの夜勤回数(回))	3.8
夜勤がない	87.7%
無回答	2.8%

(5) 職場で他分野への異動の有無

職場で他分野への異動のある人の割合は、約39%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
異動がある	39.0%
異動がない	58.8%
無回答	2.1%

(6) 職場を探した方法(複数回答)

職場を探した方法を見ると、「友人・知人からの紹介」の割合が最も高かった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
福祉人材センターの無料職業紹介	5.1%
ハローワークの無料職業紹介	18.9%
民間の職業紹介	1.0%
職能団体からの紹介	1.2%
法人等による就職説明会	1.3%
法人等のホームページ	8.2%
身内・親族からの紹介	4.9%
友人・知人からの紹介	20.1%
前の職場からの紹介	4.1%
学校・養成施設等での進路指導	14.6%
新聞・折込チラシ	3.5%
求人・就職情報誌、求人情報サイト	5.8%
実習・施設見学・ボランティア	4.7%
行政広報誌(区報・市報等)	6.9%
その他	14.9%
(無回答)	1.8%

(7) 現在の職場の従事年数

現在の職場の従事年数を見ると、「10年以上」の割合が最も高く、次いで「5年以上10年未満」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=3,373)
1年未満	10.5%
1年以上2年未満	10.1%
2年以上3年未満	8.6%
3年以上4年未満	8.2%
4年以上5年未満	7.6%
5年以上10年未満	23.8%
10年以上	30.2%
無回答	1.2%

8. 調査回答者全員の過去の仕事経験の状況

- (1) 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事の経験の有無
 (現在、精神保健福祉士の資格を活かした仕事に就いている者は現在の仕事を除く)

精神保健福祉士の資格を活かした仕事経験がある者の割合は、約35%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
精神保健福祉士の資格を活かした仕事経験がある	34.9%
精神保健福祉士の資格を活かした仕事経験がない	63.6%
無回答	1.5%

9. 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事経験のある人の状況

- (1) 過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事の通算従事年月

過去に精神保健福祉士の資格を活かした仕事の通算従事年月は、7年9ヶ月であった。

	精神保健福祉士 (N=1,346)
通算従事年月(平均)	7年9ヶ月

- (2) 過去に精神保健福祉士の資格を活かして就労していた分野の状況

就労していた分野を見ると、「医療関係」の割合が最も高く、次いで「障害者福祉関係」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=1,346)
高齢者福祉関係	6.8%
障害者福祉関係	34.1%
児童福祉関係	1.6%
生活保護関係	2.4%
医療関係	37.1%
行政関係	12.1%
司法関係	0.3%
教育関係	2.1%
その他	2.3%
(無回答)	1.2%

- (3) 前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間

前の職場を辞めてから今の職場に就職するまでの期間は、平均で1年5ヶ月であった。

	精神保健福祉士 (N=1,346)
期間 平均	1年5ヶ月

(4) 精神保健福祉士の資格を活かした仕事を辞めた理由(複数回答)

精神保健福祉士の資格を活かした仕事を辞めた理由を見ると、「法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため」の割合が最も高く、次いで、「自分の将来の見込みが立たなかったため」、「職場の人間関係に問題があったため」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=1,346)
人員整理、勸奨退職、法人解散、事業不振等のため	6.7%
他によい仕事・職場があったため	18.7%
起業・開業のため	2.5%
収入が少なかったため	16.1%
自分の将来の見込みが立たなかったため	20.8%
法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため	21.9%
自分に向かない仕事だったため	7.1%
専門性が十分に発揮できないため	13.0%
体力に自信がないため	5.9%
体調不良・病気のため(腰痛を除く)	8.7%
腰痛のため	0.7%
職場の人間関係に問題があったため	19.5%
利用者との人間関係に問題があったため	2.3%
夜勤や不規則勤務があるため	3.8%
結婚のため	7.1%
出産・育児のため	6.1%
家族等の介護・看護のため	4.4%
職場の関係者から誘われたため	8.5%
その他	17.0%
(無回答)	18.8%

(性別別、年齢別、雇用形態別)

	全体	性別			年齢						雇用形態				
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	正規職員	非正規職員(常勤)	非正規職員(パート等)	派遣職員	無回答
回答数	1,346	367	978	1	111	522	319	198	195	1	758	129	188	6	8
人員整理、勸奨退職、法人解散、事業不振等のため	6.7	7.6	6.3	0.0	7.2	4.8	5.0	9.6	11.3	0.0	4.5	10.1	10.1	0.0	12.5
他によい仕事・職場があったため	18.7	25.1	16.4	0.0	22.5	22.4	20.1	17.7	5.6	0.0	26.8	17.8	9.0	16.7	0.0
起業・開業のため	2.5	4.4	1.7	0.0	0.9	1.3	2.5	3.5	5.1	0.0	3.7	1.6	0.0	0.0	12.5
収入が少なかったため	16.1	23.2	13.4	100.0	22.5	22.2	16.9	9.1	2.1	0.0	21.0	14.7	6.4	33.3	0.0
自分の将来の見込みが立たなかったため	20.8	27.2	18.4	0.0	35.1	25.1	23.5	13.6	4.1	0.0	26.3	19.4	13.3	33.3	12.5
法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため	21.9	26.7	20.1	0.0	31.5	23.2	23.5	22.7	9.7	0.0	24.3	29.5	16.5	50.0	12.5
自分に向かない仕事だったため	7.1	5.4	7.7	0.0	13.5	8.8	6.3	4.0	3.1	0.0	6.3	7.0	8.0	33.3	12.5
専門性が十分に発揮できないため	13.0	15.0	12.3	0.0	17.1	14.0	13.2	14.6	6.2	0.0	14.8	12.4	11.7	16.7	12.5
体力に自信がないため	5.9	3.3	7.0	0.0	7.2	5.0	5.6	6.6	7.7	0.0	3.2	4.7	9.0	33.3	0.0
体調不良・病気のため(腰痛を除く)	8.7	8.2	8.9	0.0	13.5	8.6	10.0	6.6	6.2	0.0	5.9	8.5	9.0	16.7	0.0
腰痛のため	0.7	1.4	0.4	0.0	0.9	0.8	0.0	1.5	0.5	0.0	0.8	2.3	0.0	0.0	0.0
職場の人間関係に問題があったため	19.5	21.0	18.9	100.0	24.3	23.4	20.7	16.2	8.2	0.0	19.9	20.2	17.0	50.0	12.5
利用者との人間関係に問題があったため	2.3	3.0	2.0	0.0	1.8	2.1	4.4	1.5	0.5	0.0	2.0	3.1	2.7	16.7	12.5
夜勤や不規則勤務があるため	3.8	3.5	3.9	0.0	9.0	4.8	3.1	2.0	1.0	0.0	4.2	3.9	3.7	16.7	0.0
結婚のため	7.1	2.5	8.8	0.0	14.4	12.1	4.7	0.5	0.0	0.0	4.6	8.5	8.0	0.0	0.0
出産・育児のため	6.1	0.3	8.3	0.0	6.3	10.9	4.7	1.5	0.0	0.0	3.2	6.2	10.6	0.0	0.0
家族等の介護・看護のため	4.4	3.0	4.9	0.0	2.7	1.0	5.3	8.1	9.2	0.0	2.2	3.9	5.9	0.0	12.5
職場の関係者から誘われたため	8.5	10.6	7.8	0.0	4.5	8.8	10.7	10.6	4.6	0.0	13.5	4.7	2.7	0.0	0.0
その他	17.0	20.4	15.7	0.0	17.1	10.3	17.9	21.2	29.2	0.0	16.0	13.2	19.7	16.7	12.5
無回答	18.8	15.0	20.2	0.0	13.5	18.4	18.2	17.7	24.6	100.0	17.3	21.7	19.1	33.3	25.0

(5) 上記の中で最も大きな理由

最も大きな理由を見ると、「他によい仕事・職場があったため」の割合が最も高く、次いで、「法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=1,346)
人員整理、勸奨退職、法人解散、事業不振等のため	4.2%
他によい仕事・職場があったため	10.0%
起業・開業のため	1.9%
収入が少なかったため	4.2%
自分の将来の見込みが立たなかったため	3.9%
法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため	7.7%
自分に向かない仕事だったため	2.1%
専門性が十分に発揮できないため	3.0%
体力に自信がないため	0.6%
体調不良・病気のため(腰痛を除く)	3.6%
腰痛のため	0.1%
職場の人間関係に問題があったため	5.1%
利用者との人間関係に問題があったため	0.1%
夜勤や不規則勤務があるため	0.7%
結婚のため	4.8%
出産・育児のため	5.3%
家族等の介護・看護のため	2.1%
職場の関係者から誘われたため	2.7%
その他	12.3%
(無回答)	25.6%

(性別別、年齢別、雇用形態別)

	全体	性別			年齢						雇用形態				
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	正規職員	非正規職員(常勤)	非正規職員(パート等)	派遣職員	無回答
回答数	1,346	367	978	1	111	522	319	198	195	1	758	129	188	6	8
人員整理、勸奨退職、法人解散、事業不振等のため	4.2	6.0	3.5	0.0	3.6	2.9	3.4	7.1	5.6	100.0	2.8	7.8	2.7	0.0	0.0
他によい仕事・職場があったため	10.0	14.2	8.4	0.0	2.7	11.7	12.2	12.1	3.6	0.0	13.2	10.9	6.4	33.3	0.0
起業・開業のため	1.9	4.1	1.1	0.0	0.0	1.5	1.9	2.5	3.6	0.0	3.0	0.8	0.0	0.0	12.5
収入が少なかったため	4.2	7.9	2.8	0.0	6.3	5.2	5.3	2.5	0.0	0.0	5.8	4.7	1.1	0.0	0.0
自分の将来の見込みが立たなかったため	3.9	4.6	3.7	0.0	9.9	4.6	4.4	1.0	1.0	0.0	4.6	4.7	3.2	0.0	0.0
法人や事業所のケアの手法や考え方に共感できなかったため	7.7	7.6	7.8	0.0	9.9	9.6	9.4	5.1	1.5	0.0	9.2	8.5	4.8	16.7	0.0
自分に向かない仕事だったため	2.1	1.4	2.4	0.0	4.5	3.3	0.6	1.0	1.0	0.0	1.7	2.3	3.2	0.0	0.0
専門性が十分に発揮できないため	3.0	3.0	3.0	0.0	8.1	3.3	1.9	1.5	2.6	0.0	4.1	2.3	1.1	0.0	0.0
体力に自信がないため	0.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.4	0.3	1.0	1.5	0.0	0.1	1.6	0.5	0.0	0.0
体調不良・病気のため(腰痛を除く)	3.6	3.3	3.7	0.0	5.4	3.6	3.1	4.5	2.1	0.0	2.0	0.8	4.8	0.0	0.0
腰痛のため	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
職場の人間関係に問題があったため	5.1	5.2	4.9	100.0	9.0	6.1	5.0	2.0	3.1	0.0	5.8	8.5	3.7	33.3	0.0
利用者との人間関係に問題があったため	0.1	0.0	0.2	0.0	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
夜勤や不規則勤務があるため	0.7	0.5	0.8	0.0	0.9	0.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.5	0.0	0.0
結婚のため	4.8	0.5	6.4	0.0	11.7	7.7	3.1	1.0	0.0	0.0	2.2	3.9	6.4	0.0	0.0
出産・育児のため	5.3	0.0	7.3	0.0	2.7	9.8	4.4	1.5	0.0	0.0	2.5	3.1	6.9	0.0	0.0
家族等の介護・看護のため	2.1	2.2	2.0	0.0	0.0	0.2	2.8	2.0	7.2	0.0	0.5	2.3	4.3	0.0	0.0
職場の関係者から誘われたため	2.7	2.7	2.8	0.0	0.9	2.9	4.7	2.5	0.5	0.0	4.4	2.3	0.5	0.0	0.0
その他	12.3	10.6	13.0	0.0	9.0	9.4	10.7	16.2	21.0	0.0	11.1	13.2	16.5	0.0	12.5
無回答	25.6	26.2	25.5	0.0	14.4	17.2	24.8	36.4	45.1	0.0	26.3	21.7	33.0	16.7	75.0

10. 調査回答者全員の資格取得のメリットの意識(複数回答)

資格取得のメリットを見ると、「自信を持って業務に取り組むことができるようになった」の割合が最も高く、次いで「他の専門職と円滑に連携できるようになった」の割合が高かった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
特になし	19.5%
資格手当等の給与が上がった	17.2%
昇格・昇進につながった	3.1%
希望していた職種に就くことができた	24.3%
就職の際に有利だった	24.0%
利用者等からの信頼度が上がった	21.0%
自信を持って業務に取り組むことができるようになった	35.0%
他の専門職と円滑に連携できるようになった	29.2%
その他	9.5%
(無回答)	1.6%

11. 調査回答者全員の今後の精神保健福祉士の資格を活かした仕事への就労希望

(現在、精神保健福祉士の資格を活かした仕事に就いている人はその継続希望)

精神保健福祉士の資格を活かした仕事への就労希望(継続希望)は、「是非働きたい」「条件があれば働きたい」の合計で約78%であった。

	精神保健福祉士 (N=3,859)
是非働きたい	31.8%
条件があれば働きたい	46.6%
働きたくない	6.0%
分からない	14.3%
(無回答)	1.3%

(性別別、年齢別、就労状況別)

	全体	性別			年齢						就労状況1			就労状況2		
		男性	女性	無回答	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	就労している	就労していない	無回答	精神保健福祉士の資格を活用している	精神保健福祉士の資格を活用していない	無回答
回答数	3,859	1,098	2,754	7	482	1,287	918	686	476	10	3,373	409	77	2,262	1,074	37
是非働きたい	31.8	34.3	30.9	14.3	33.4	32.0	33.6	32.2	26.5	10.0	33.8	17.8	19.5	44.7	10.7	37.8
条件があれば働きたい	46.6	44.8	47.3	14.3	47.9	48.9	47.3	46.1	38.7	30.0	46.2	50.4	44.2	42.4	54.1	45.9
働きたくない	6.0	5.6	6.2	0.0	6.2	5.4	4.6	4.7	12.0	10.0	5.3	11.5	7.8	2.6	11.1	2.7
分からない	14.3	13.8	14.5	0.0	12.0	12.7	13.3	15.6	21.0	0.0	13.6	19.3	16.9	9.1	23.3	10.8
無回答	1.3	1.4	1.1	71.4	0.4	0.9	1.3	1.5	1.9	50.0	1.1	1.0	11.7	1.2	0.8	2.7